

【テーマ・課題】

かのやシビックプライドプロジェクト

～鹿屋に関わる全ての人が鹿屋市のことを好きになる取り組みを導き出せ！～

令和5年6月3日

鹿屋市市長公室

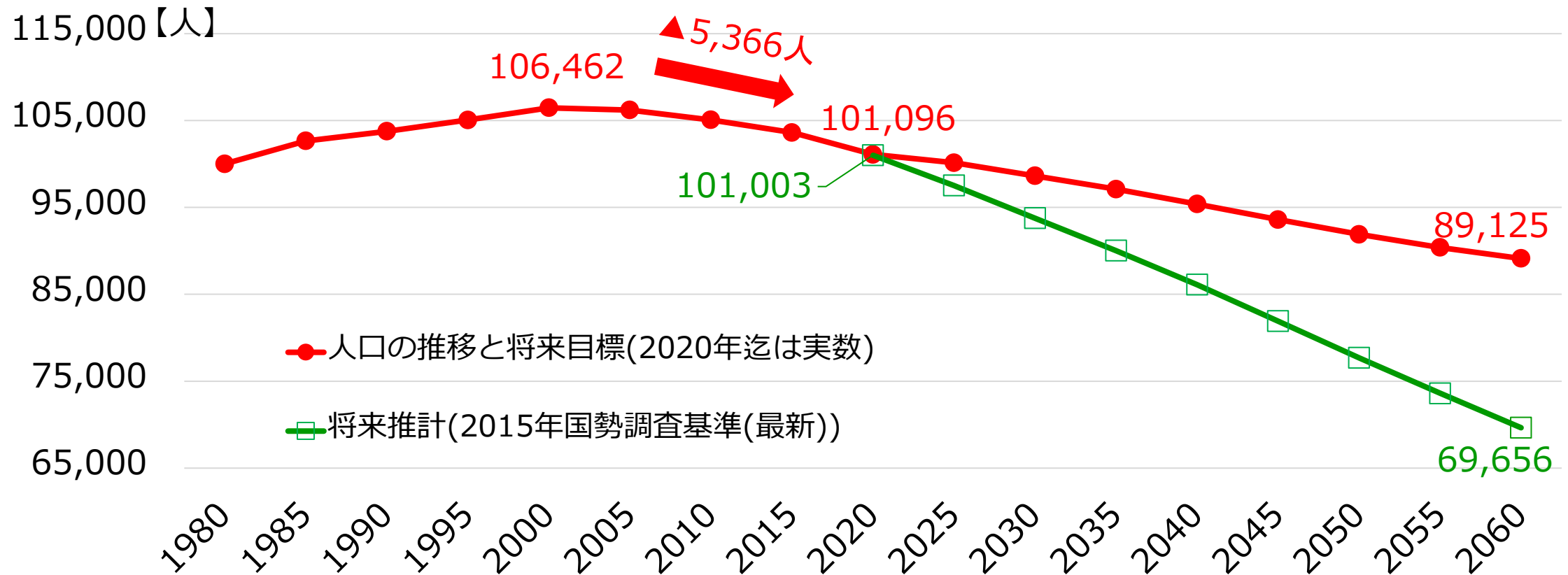
政策推進課・人口減少対策本部

か の や 中高生政策アイデアコンテスト
1 0 0 2023年 第10回かのや100チャレ
チ ャ レ



鹿屋市人口減少の現状

- ◆鹿屋市の人口は、2000年をピークに年々減少。
- ◆このまま推移すると、2060年には69,000人まで減少。

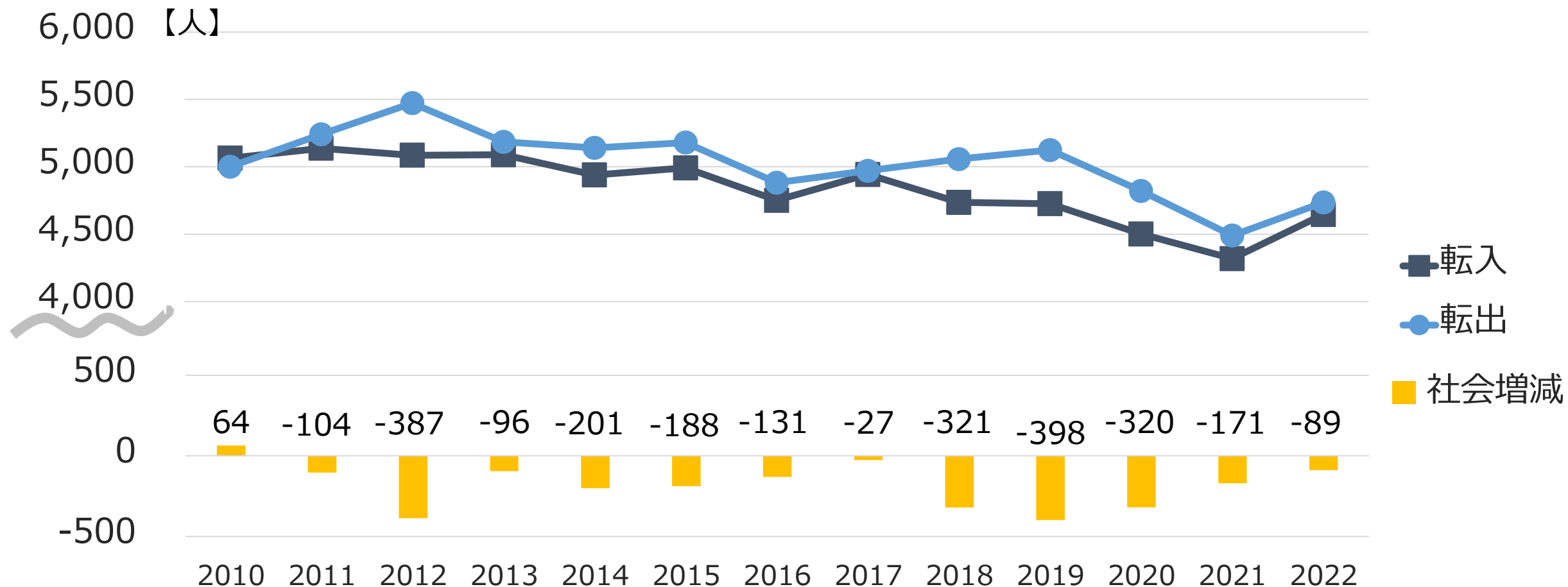


人口動態の推移(社会増減)



中高生政策アイデアコンテスト
2023年 第10回かのや100チャレ

◆依然、社会減（転出超過）の状態が続いており、転入・転出ともに減少傾向



2021年度鹿屋市内高校卒業生の就職・進学状況(地域別)

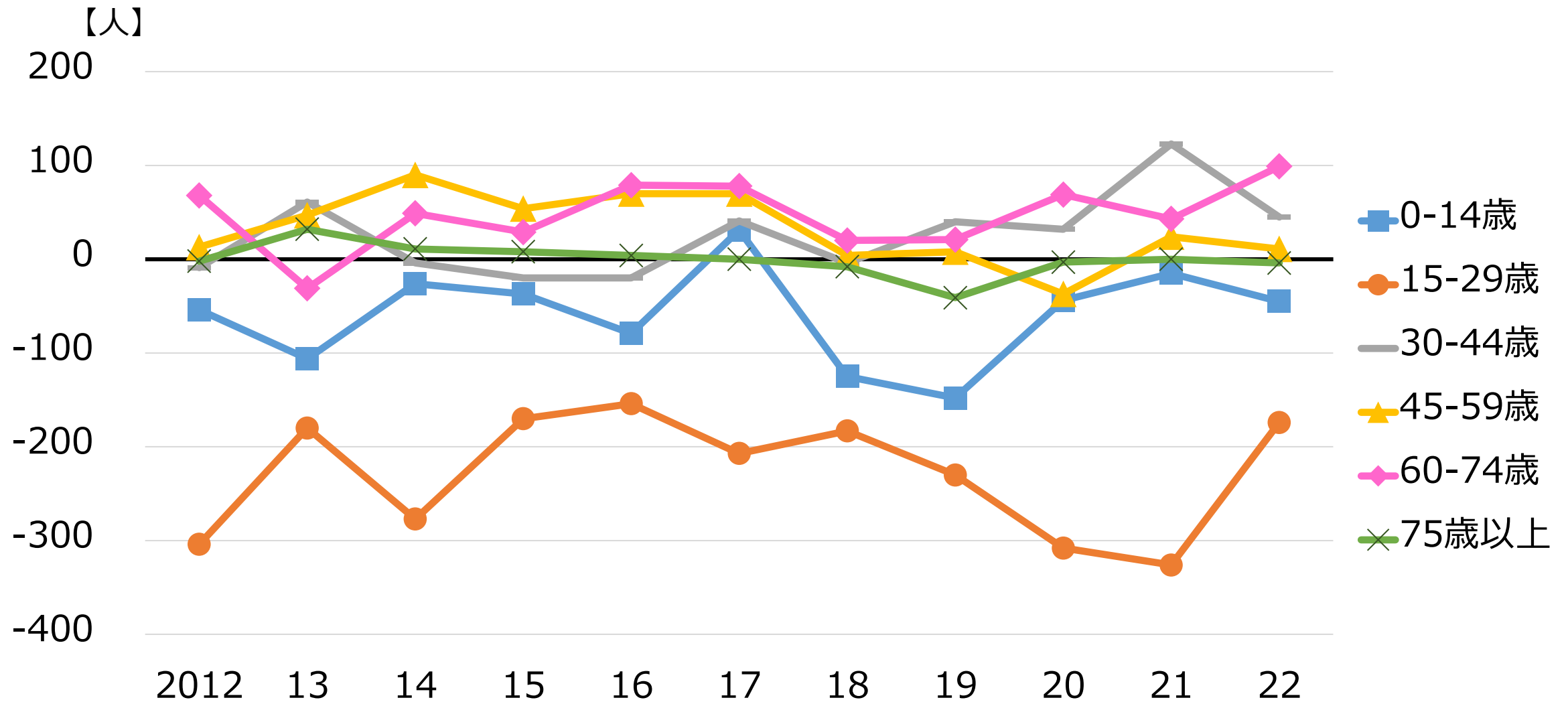
	就職者		進学者		不明	卒業生 合計 (人)
	人数	就職者合計に 対する割合	人数	進学者合計に 対する割合	人数	
鹿屋市内	55人	17.4%	21人	3.1%	15人	1,015人
市外(県内)	102人	32.3%	286人	41.8%		
市外(県外)	159人	50.3%	377人	55.1%		
合計	316人	—	684人	—		

82.6%

96.9%

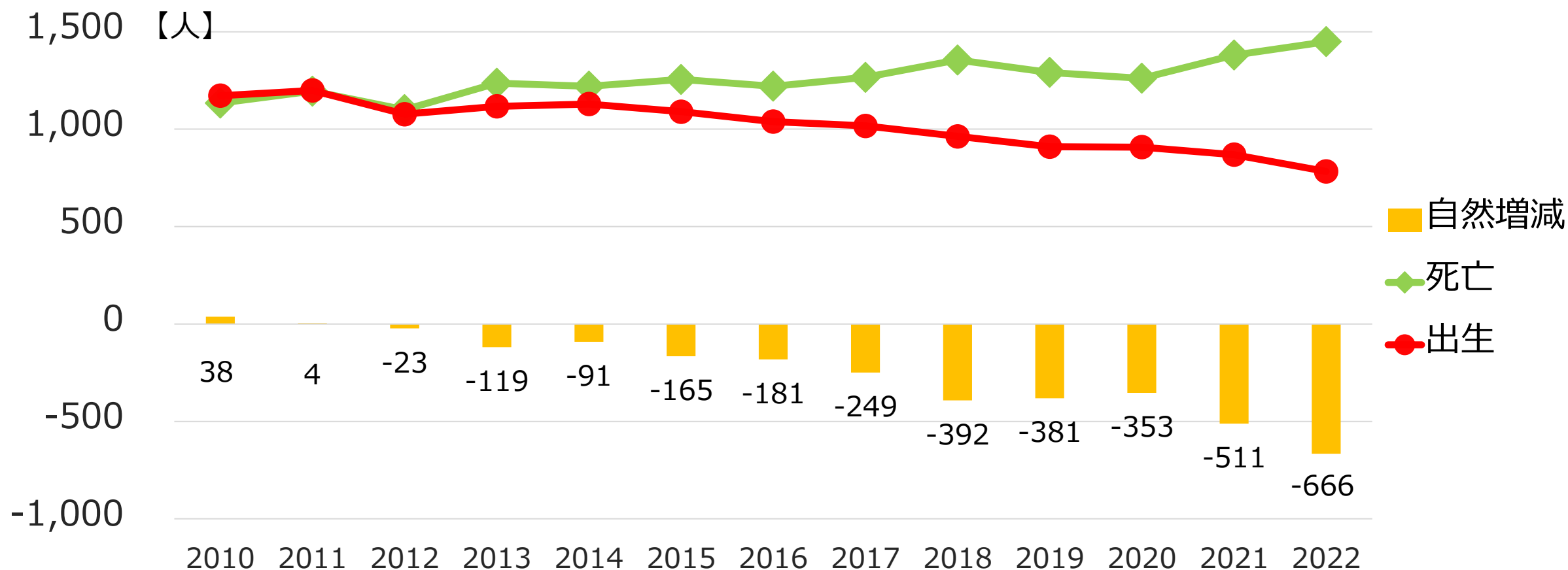
就職者の **8割以上**、進学者の **9割以上** は市外(県内 + 県外)へ

年代別社会増減



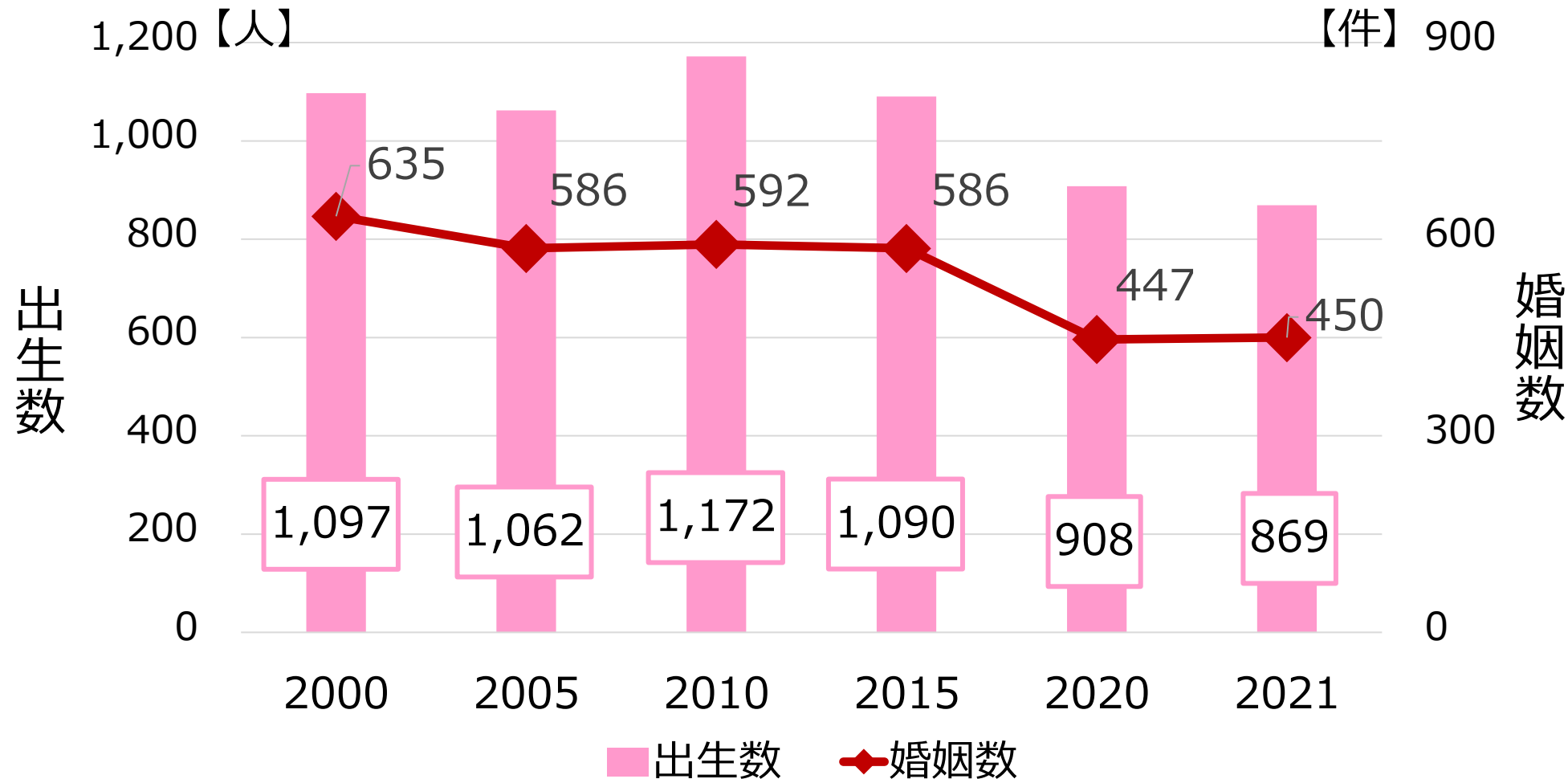
人口動態の推移(自然増減)

◆出生数、死亡数ともに、一定の水準で推移しているものの、今後、高齢化や若年人口の減少などの影響により、自然減が大きくなっていくことが予想される。



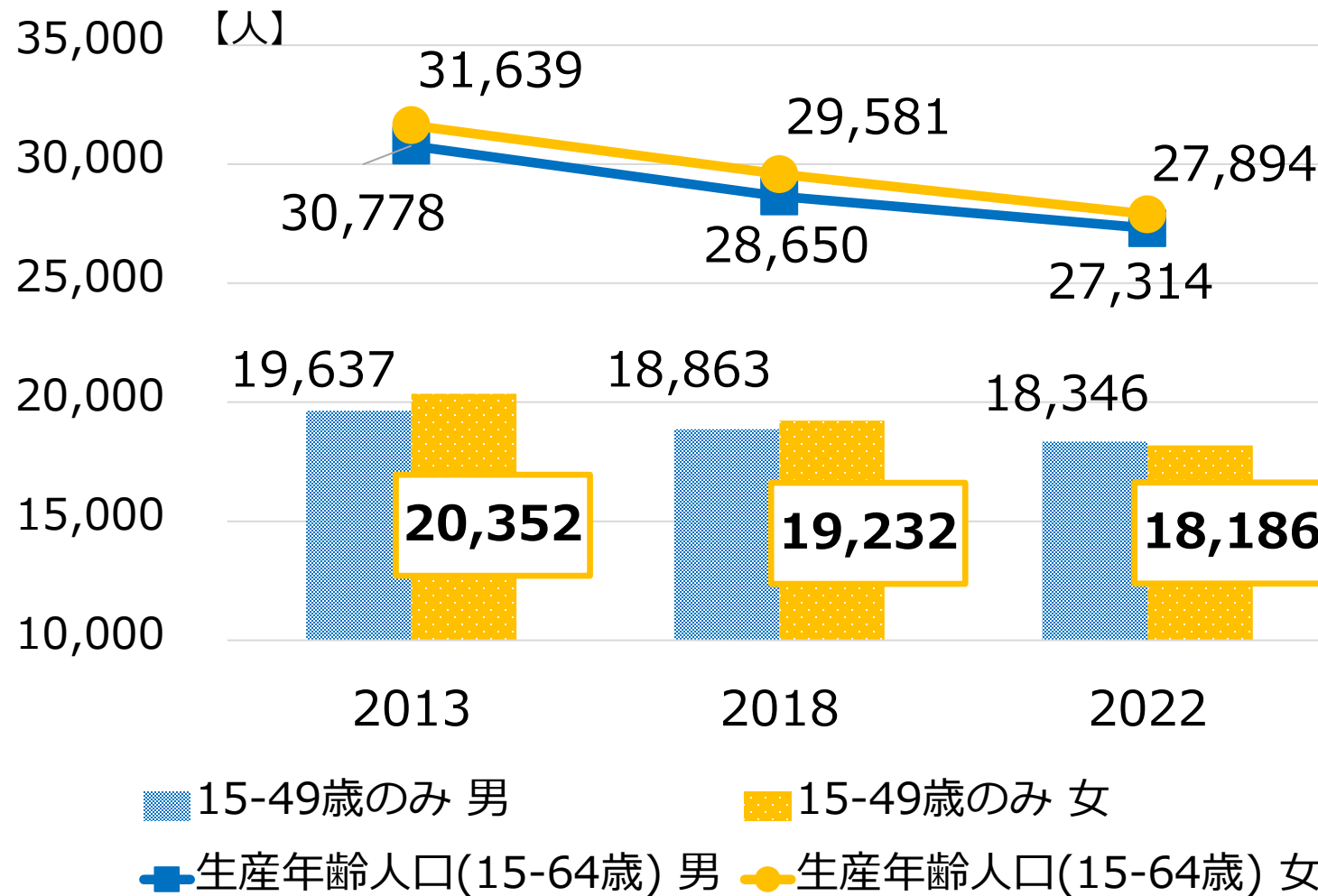
鹿屋市の出生数と婚姻数の推移

◆出生数は婚姻数に比例

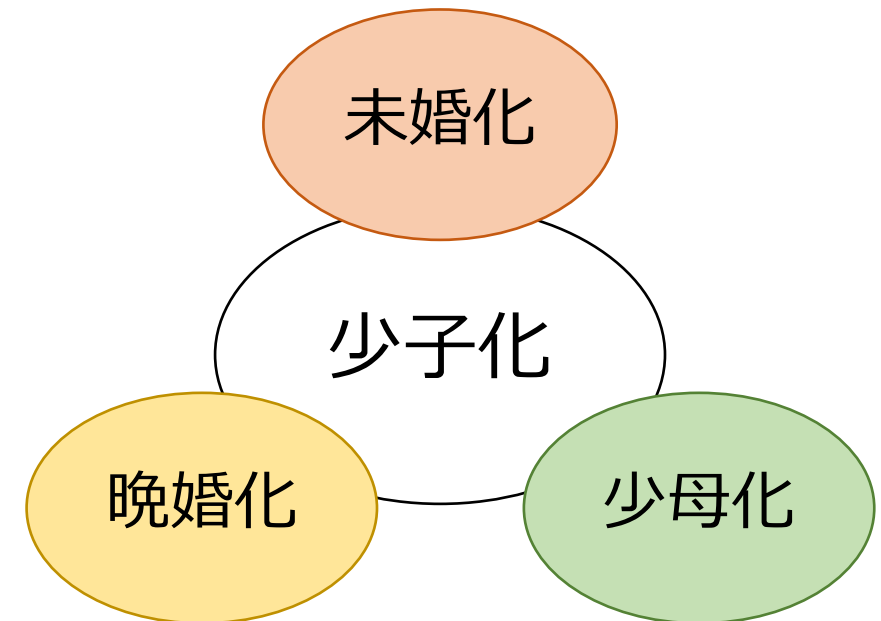


生産年齢人口と15-49歳の人口の推移

◆15歳-49歳の女性人口の減少が進んでいる

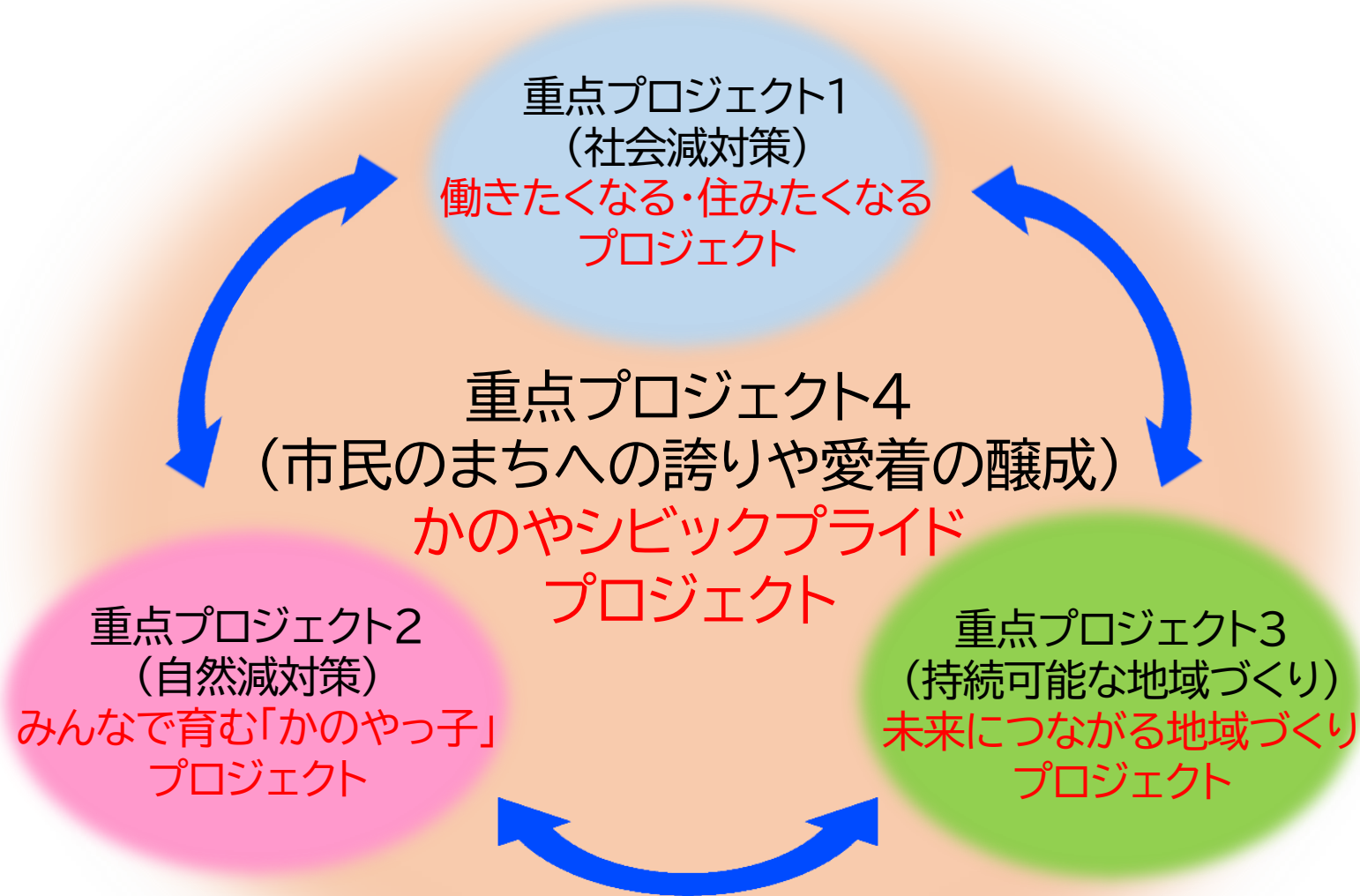


15-49歳の女性人口の減少



【出典】統計かのや

4つの重点プロジェクト



【プロジェクト共通の視点】

- ・市民発の情報発信
- ・デジタル技術の活用
- ・応縁人口との情報共有
- ・大隅地域での広域連携

応縁人口とは・・・

地域と多様に関わる「関係人口」のうち、市外に住む本市出身者や本市と縁がある人で本市に関心を持ち、まちづくりを応援してくれる人々を意味する造語



『シビックプライド』とは・・・

愛着

「このまちが好きだ」
「このまちに親しみを感じる」
「このまちから離れても戻ってきたい」

誇り

「このまちに住んでいる自分が好きだ」
「このまちを大切に思う」
「このまちにステータスを感じる」

共感

「このまちの住民の価値観に共感する」
「このまちは自分に合っている」
「このまちにいると楽しい」

住み続けたい

人に勧めたい



【出典】伊藤香織ほか, 「シビックプライド都市のコミュニケーションをデザインする」. 宣伝会議, 2008, p.201

<主な取組>

まちの特性を生かした
魅力づくり

- 「鹿屋と言えどこれだ！」をつくる
- スポーツツーリズムを推進する

まちに誇りや愛着を
持つ人づくり

- 「かのや検定」を実施する
- 文化活動を広める

まち・人・環境に
優しい地域づくり

- 「ゼロカーボンシティかのや」
- SDGsの達成に向けて取り組む



鹿屋と関わる
全ての人が

- ・ワクワクする
- ・鹿屋を好きになる
- ・鹿屋を深く知ることができる

夢と希望に満ちあふれる元気なまちにつながる提案を
お待ちしております！

